

山形のさくらんぼ 世界に誇る贈り物に

純白の花と、淡い緑色の若芽。春のさくらんぼ畑は、約50日先の豊かな実りを予感させてくれます。高品質なさくらんぼを生産している山辺町の多田農園の畑でこのほど、代表取締役の多田耕太郎と、山形トヨペットの鈴木政康社長が「ブランド」論議に花を咲かせました。

会長の笑顔がお付き合いのきっかけ

鈴木 毎年、多田農園のさくらんぼを主に県外の関係先に贈っており、とても喜んでいただいております。きっかけは19年前、弊社の親会社カメイの亀井文蔵会長がさくらんぼ狩りをさせていただいたことでした。

多田 亀井会長がどのような方か存じ上げず、ごく普通にお引き受けしましたが、当日山形トヨペットのの方が大勢来られてびっくり。家族3人で来られた亀井会長は、2、3粒口に含んで、しみじみ「うまいなー」とおっしゃいました。満足そうな表情が印象に残っています。

鈴木 霜の影響でさくらんぼが品薄だった年も、素晴らしい品物が届いたと喜んでいただきました。高い品質のものを毎年必ず贈ってくれるということは、依頼する側からすれば「信頼」につながります。

「高付加価値」と「信頼」がブランドの礎

多田 花が咲く直前の「遅霜」はさくらんぼの大敵です。スプリンクラーで夜通し水をまく「樹上散水」など、他ではあまりやっていないような対策を行っています。

鈴木 実が付き過ぎないように剪定を工夫したり、たくさん咲いた花を間引いたりするとも伺いました。品質に対する特別な思いを感じます。

多田 贈る人、贈られる人の双方が満足できる、高付加価値のものをつくりたいと常に考えています。贈り物として誰もが喜ぶ「とらやのようかん」や、自動車の「レクサス」のように、「さくらんぼといえば多田農園」といったブランド力を付け、きちんとお届けできるようにしていきたい。



多田耕太郎
株式会社多田農園 代表取締役

鈴木政康氏
山形トヨペット株式会社 代表取締役社長

喜んでいただくことを第一に

鈴木 レクサスは顧客満足度が全てに優先します。車を買っていただいたお客さまの生活がどれだけ豊かになったのか、そこに仕事の喜びを感じられるような働き方を目指しています。多田農園のさくらんぼも、作る人の顔が見え、味わう人の笑顔が思い浮かびます。「喜んでいただく」ことを第一に考えているところはレクサスと通じるところがあると思います。

多田 ありがとうございます。後継者を育てており、近い将来経営を任せようと思っています。これまでの積み重ねに新たな価値を加え、多田農園の名を日本、そして世界に通用するものにしてほしいですね。



左から多田農園専務取締役の安食政史、鈴木氏、多田



やまのべ多田耕太郎のさくらんぼ

多田農園

〒990-0300 山形県東村山郡山辺町元宮63-2

TEL.023-664-8302
FAX.023-664-8336

資料請求・ご注文・お問い合わせ
<https://www.tadanoen.com>
HPはこちらからもご覧になれます⇒

